

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【公表番号】特表2018-506907(P2018-506907A)

【公表日】平成30年3月8日(2018.3.8)

【年通号数】公開・登録公報2018-009

【出願番号】特願2017-538947(P2017-538947)

【国際特許分類】

H 0 4 W 28/06 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

H 0 4 W 92/20 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 28/06 1 1 0

H 0 4 W 72/04 1 3 6

H 0 4 W 92/20 1 1 0

H 0 4 W 72/04 1 3 1

H 0 4 W 72/04 1 3 2

【手続補正書】

【提出日】平成31年1月17日(2019.1.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ワイヤレス通信システムを動作させる方法であって、

第1のワイヤレストランシーバからの複数の第2のワイヤレストランシーバに対する割当て情報を物理的ブロードキャストチャンネル(PBCH)上で前記複数の第2のワイヤレストランシーバの1つにより受信することと、

前記複数の第2のワイヤレストランシーバの前記1つにより、前記複数の第2のワイヤレストランシーバに対する前記割当て情報を復号することと、

前記復号された割当て情報に応答して、物理的ダウンリンク制御チャンネル(PDCCCH)上でプロシージャール情報を受信することと、

を含む、方法。

【請求項2】

請求項1に記載の方法であって、

前記割当て情報が、フレームのどのスロットと構成要素キャリアとが、前記第2のワイヤレストランシーバの前記1つに割当てられるかを特定する、方法。

【請求項3】

請求項1に記載の方法であって、

前記PBCHがフレーム毎に送信され、前記PDCCCHがダウンリンクスロット毎に送信される、方法。

【請求項4】

請求項1に記載の方法であって、

前記複数の第2のワイヤレストランシーバの各第2のワイヤレストランシーバに対する前記割当て情報が、他の第2のワイヤレストランシーバに対するプロシージャール情報から独立しており、

各第2のワイヤレスランシーバが、前記複数の第2のワイヤレスランシーバに対する前記割当て情報を読み出す、方法。

【請求項5】

請求項1に記載の方法であって、

前記プロシージャ情報が、コンポーネントキャリアとフレームのロットとの割当てにより識別されるプロシージャ情報を含む、方法。

【請求項6】

請求項1に記載の方法であって、

前記プロシージャ情報が、前記第2のワイヤレスランシーバの前記1つから、後続のアップリンク伝送において用いられる、コンポーネントキャリアとフレームのロットとのプロシージャ情報を含む、方法。

【請求項7】

請求項1に記載の方法であって、

固有のインデックスを前記第1のワイヤレスランシーバから各第2のワイヤレスランシーバにアサインすることを更に含み、

第1のインデックスがランダムアクセス通信のためにリザーブされている、方法。

【請求項8】

請求項1に記載の方法であって、

フレームと構成要素キャリアとの各ダウンリンク(DL)ロットにおいて個別のPDCHを動的に構築することと、

前記第2のワイヤレスランシーバの前記1つへのDLロットと構成要素キャリアとにおける、変調及び符号化方式(MCS)と送信モードとを含む、それぞれのダウンリンク制御情報(DCI)を送信することと、

を更に含む、方法。

【請求項9】

請求項8に記載の方法であって、

前記送信モードが変調符号方式(MCS)コードワードから判定される、方法。

【請求項10】

請求項1に記載の方法であって、

フレームと構成要素キャリアとの各ダウンリンクロットにおいて個別の物理的ダウンリンク制御チャンネル(PDCH)を動的に構築することと、

前記第2のワイヤレスランシーバの前記1つからの後続のアップリンク伝送において用いられる送信モードを含む、それぞれのダウンリンク制御情報(DCI)を送信することと、

を更に含む、方法。

【請求項11】

ワイヤレス通信システムであって、

第1のワイヤレスランシーバからの複数の第2のワイヤレスランシーバに対する割当て情報を物理的ブロードキャストチャンネル(PBCH)上で前記複数の第2のワイヤレスランシーバの1つにより受信する手段と、

前記複数の第2のワイヤレスランシーバの前記1つにより、前記複数の第2のワイヤレスランシーバに対する前記割当て情報を復号する手段と、

前記復号された割当て情報に応答して、物理的ダウンリンク制御チャンネル(PDCH)上でプロシージャ情報を受信する手段と、

を含む、システム。

【請求項12】

請求項11に記載のシステムであって、

前記割当て情報が、フレームのどのロットと構成要素キャリアとが、前記第2のワイヤレスランシーバの前記1つに割当てられるかを特定する、システム。

【請求項13】

請求項 1 1 に記載のシステムであって、
前記 P B C H がフレーム毎に送信され、前記 P D C C H がダウンリンクスロット毎に送信される、システム。

【請求項 1 4】

請求項 1 1 に記載のシステムであって、
前記複数の第 2 のワイヤレスランシーバの各第 2 のワイヤレスランシーバに対する前記割当て情報が、他の第 2 のワイヤレスランシーバに対するプロシージャー情報から独立しており、

各第 2 のワイヤレスランシーバが、前記複数の第 2 のワイヤレスランシーバに対する前記割当て情報を読み出す、システム。

【請求項 1 5】

請求項 1 に記載のシステムであって、
前記プロシージャー情報が、コンポーネントキャリアとフレームのスロットとの割当てにより識別されるプロシージャー情報を含む、システム。

【請求項 1 6】

請求項 1 1 に記載のシステムであって、
前記プロシージャー情報が、前記第 2 のワイヤレスランシーバの前記 1 つから、後続のアップリンク伝送において用いられる、コンポーネントキャリアとフレームのスロットとのプロシージャー情報を含む、システム。

【請求項 1 7】

請求項 1 1 に記載のシステムであって、
固有のインデックスを前記第 1 のワイヤレスランシーバから各第 2 のワイヤレスランシーバにアサインする手段を更に含み、

第 1 のインデックスがランダムアクセス通信のためにリザーブされている、システム。

【請求項 1 8】

請求項 1 1 に記載のシステムであって、
フレームと構成要素キャリアとの各ダウンリンク (D L) スロットにおいて個別の P D C C H を動的に構築する手段と、

前記第 2 のワイヤレスランシーバの前記 1 つへの D L スロットと構成要素キャリアとにおける、変調及び符号化方式 (M C S) と送信モードとを含む、それぞれのダウンリンク制御情報 (D C I) を送信する手段と、

を更に含む、システム。

【請求項 1 9】

請求項 1 8 に記載のシステムであって、

前記送信モードが変調符号方式 (M C S) コードワードから判定される、方法。

【請求項 2 0】

請求項 1 1 に記載のシステムであって、

フレームと構成要素キャリアとの各ダウンリンクスロットにおいて個別の物理的ダウンリンク制御チャネル (P D C C H) を動的に構築する手段と、

前記第 2 のワイヤレスランシーバの前記 1 つからの後続のアップリンク伝送において用いられる送信モードを含む、それぞれのダウンリンク制御情報 (D C I) を送信する手段と、

を更に含む、システム。